

ばん あん こう きゅう どう だい
萬安港旧灯台

●所在地／灘町 ●所有者／伊予市

高さ 622.1cm、底辺幅 235cm、^{かこうがん}花崗岩の石造の旧灯台である。^{ごしきはま}五色浜公園の北端、現在の伊予港に面して建っている。明治2年（1869）、^{ぐんちゅう}郡中港の防波堤の修築にあわせて、約 70m の石垣の先端に、それまで木造であった灯台を石造に改築したものである。大正元年（1911）に現在地へ移築された。

築造した石には碑文が刻まれている。世話方・寄付者の名と「港口改築之為 移転築台 大正元年十月廿五日 町長藤谷豊城」「石工今岡仲次郎」の名が記されているほか、海流が激しいため出入りの船が夜間大変難儀したが、この灯台が毎夜灯光を放ってくれるので破船の恐れがなくなったこと、昔は木造であったものを^{くまのよしお}熊野芳雄が有志と相談して石造にしたことなどが刻まれている。

簡素ではあるが、明治初期からの近代建築の雰囲気を感じさせる建造物である。

